

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 6, 事業名, 商工会の創業支援力強化事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 事業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐藤大輔, 施策コード, 3, 施策名, 新たな可能性にチャレンジする創業・新分野進出の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会地域では、少子高齢化や人口減少、マーケットの縮小による事業者の減少に歯止めがかからず、創業支援や新分野進出等の支援による地域経済の維持が求められている。

2. 事業のねらい

創業や新分野進出を一層促進し、地域に新たな活力を創出していくため、有資格者の育成等で商工会の支援力を更に強化する。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, C, R1, B, R2, B

商工会に設置しているインキュベーションマネージャーや専門家を活用して、起業支援補助金等の活用13件の支援を後押しした。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

「経営アシスト会議」を活用し、商工会に設置しているインキュベーションマネージャーによる起業支援補助金申請書や創業計画の磨き上げを行う。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Row 1: 14, 商工会の支援力強化, 「経営アシスト会議」の活用や県連合会とのチーム支援により、県の起業支援補助金の活用提案等で創業希望者へ支援を実施している, a, a, a, A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for performance metrics: 取組コード, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 実績, 達成率, 達成度. Includes target and actual performance data.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

創業や新分野進出を一層促進し、地域に新たな活力を創出という課題に対して、経営指導員による創業へのサポート力向上は欠かせないことから、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

県の起業支援補助金活用事業を中心に全県から情報収集を行いながらタイムリーに支援を行った結果、13件の補助金採択という成果があったことから、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

「経営アシスト会議」や組織内有資格者であるインキュベーションマネージャーを活用した取組であることから、コスト面での貢献度は高い。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

「経営アシスト会議」自体の件数は多くないものの、電話やメールによる指導助言などきめ細かな支援により、起業支援補助金の活用が13件にのぼったことから、県連合会とのチーム支援は一定の成果を残した。

3. 課題

創業希望者情報情報をタイムリーに入手するためには商工会の開催している創業塾の状況を把握する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

伴走型補助金を活用して実施される創業塾の情報をタイムリーに入手し個別支援に結び付けるほか、創業実現に向けた支援策を検討・実施していく。